

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	高齢者福祉	コード	作成者	役職	所長
		02-01-04	氏名	山口和夫	
			電話	64-1824	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	高齢者が安心して暮らせるために、各種事業を行う。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	平成18年の高齢化率は26.5%で、全国水準を大きく上回っている。このように高齢化が進む中、介護を要する高齢者に対するケアを行うとともに、元気な高齢者がいつまでも生きがいを持って高齢期を迎えることができるよう、高齢者全般の保健・福祉サービスのニーズにこたえる体制の整備が不可欠となっている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防事業の推進 生活支援サービスの充実 高齢者の社会参加の支援 地域社会づくりの支援 	

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高-低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位
			H17		H18		H19		
			直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	
1 生きがい創造事業	C	生きがいと創造の事業	424	500	424	460			
		シルバーカード交付事業	0		31	460			
2 日常生活用具給付事業	C	日常生活用具給付事業(補助事業分)	57	740	0	0			
		日常生活用具給付事業(単市分)	32		66	190			
		福祉電話貸与事業	120		102	190			
3 高齢者住宅改造助成事業	B	高齢者住宅改造助成事業	3,147	1,040	2,052	1,140			
		高齢者住宅整備資金貸付事業	0		0	0			
4 老人福祉施設管理運営事業(備前)	C	老人福祉施設管理運営事業	84		1,153	545			
		社会福祉事業団運営補助事業			477	218			
		老人福祉センター指定管理委託事業	8,413	1,980	1,060	545			
		福祉センター指定管理委託事業			3,194	545			
		養護老人ホーム番山荘用地借上げ事業	956		955	327			
5 老人福祉施設管理運営事業(日生)	A	老人福祉施設管理運営事業	8,427	1,024	8,659	190			
6 老人福祉施設管理運営事業(吉永)	C	老人福祉施設管理運営事業	20,211	2,630	21,979	1,870			
7 老人保護措置事業	B	老人保護措置事業	102,229	1,960	96,656	3,050			
		老人保護措置費事務事業	74		37	90			
8 在宅介護見舞金給付事業	D	在宅介護見舞金給付事業	2,490	915	1,940	380			H18完了
9 諸島地区無料船運航事業	C	諸島地区無料船運航事業	7,056	1,421	6,969	3,140			
10 諸島地区高齢者等渡航費補助事業	B	諸島地区高齢者等渡航費補助事業	240	352	105	380			
11 寺山地区高齢者通院費事業	B	寺山地区高齢者通院費事業	80	352	69	475			
12 シルバー人材センター補助事業	B	シルバー人材センター補助事業	6,305	3,630	12,050	2,560			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	316,832	293,407	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

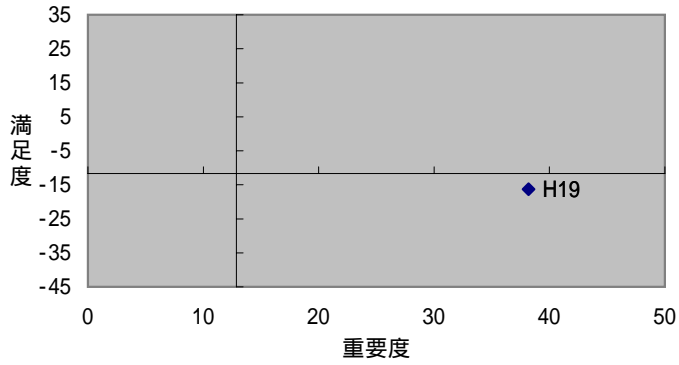
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
保健課	地域参加型リハビリ教室	老人保険事業で実施している閉じこもり防止は、認知症防止等を目的としたリハビリ教室で、今後、地域のボランティアと連携して実施することで、参加者が増え介護予防対策が期待できる。
介護保険課 (地域包括支援センター)	介護予防事業	要介護にならないための予防事業が必要。

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	市民意識調査でも、高齢者が安心して生活出来ると感じている市民の割合が昨年に比べ低くなっている。	3	市民意識調査の結果、まだまだ低い水準である。
2 事業構成の適当性	3	各種予防事業、社会参加支援等の事業を進めており適当である。	3	事業等の見直しをする必要がある。
3 施策の有効性	3	高齢者の生きがいのための事業であり、今後、老人クラブ、シルバー会員数を増やしていく必要がある。	3	高齢化が進む中、有効な施策である。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	高齢者の介護予防対策強化、福祉ボランティアなどのマンパワーの育成、虐待の防止・早期発見に努めること。		予防重視型のシステム、地域包括ケアの中核である地域包括支援センターの体制を強化する必要がある。また、閉じこもり、認知症防止等を目的としたリハビリ教室を地域ボランティアの協力を得て実施し、気軽に参加できるよう介護予防活動の輪を拡げる必要がある。	
二次評価者コメント	高齢者福祉においては、加齢に伴って起きる身体的及び心理的な面での諸問題を理解しなければならぬ。高齢者の社会的ニーズを総合的にとらえた施策を推進していく必要がある。平成20年度予算の方向性としては、高齢者福祉事業の見直しをすることとして減配分とする。			平成20年度 予算の方向性 減配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	38.2		
満足度(%)	-16.3		



高↑満足度↓

低 ← 重要度 → 高

平均

<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域> 現状の方向を継続

<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等	高齢者福祉に対する重要度が高い中で、市民に対して事業・サービスの説明が十分出来ていない。
---------------------	--

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 高齢者が安心して生活できると感じている市民の割合	目標	%			23.0	25.0	市民意識調査結果
	実績	%	17.6	16.6			
	達成率	%					
2 老人クラブ加入率	目標	%			50.0	55.0	高齢者の社会参加意識の向上
	実績	%	46.9	45.0			
	達成率	%					
3 憩いの場設置箇所数	目標	箇所			80.0	100.0	高齢者の社会参加意識の向上
	実績	箇所	49.0	55.0			
	達成率	%					
4 シルバー会員数	目標	人			200.0	220.0	高齢者の生きがいと就労支援
	実績	人	167.0	186.0			
	達成率	%					

